

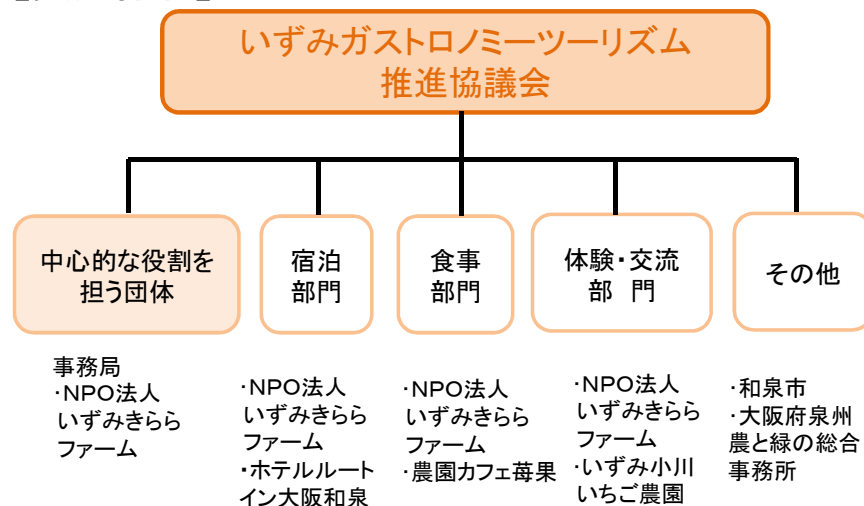
- 大阪の都心部や関西国際空港から約20km。国営泉州東部区域農用地総合整備事業（H9～H19）により、丘陵地に広がる山林、原野などを畑作地に開発され、大規模農業生産団地が整備。
- 恵まれた自然環境と周辺農地を活用した農業担い手塾などの「農を学ぶ」活動を実施するとともに、農産物の収穫体験や調理加工体験等を通じて都市住民が農業とふれあう場を提供。

## 大阪府和泉市



【採 択 年 度】  
令和2年度  
【事業実施期間】  
令和2～3年度

## 【実施体制】



## 【特徴的な取組】

- ・地域内関係者間での連携体制と一体感ある運営体制を構築。
- ・地域内関係者と連携した付加価値の高い体験プログラムを開発。
- ・地元特産物や地元食材を活用した付加価値の高い食コンテンツを開発。
- ・観光DMO組織、教育機関等と連携したマーケティング、リサーチを実施。
- ・訪日インバウンド層受入のための環境整備。



特産物開発セミナー



農空間の活用を提案するモニターツアー

## 【取組内容】

- 協議会において、役割分担とビジョンを共有し実施体制を整えるための勉強会や関係事業者との連携を深めるためのワークショップを実施。
- 体験プログラムとして、既存の農産物の収穫体験に加え、植え付けから収穫まで一連の作業を体験できるプログラムを開発し提供する。また、遊休農地を活用した滞在型体験プログラム（訪日教育旅行ほか）やインバウンド対応可能な食コンテンツ（ムスリム対応含む）、地域の観光資源と食コンテンツを組み合わせた周遊型パッケージ（サイクリングやハイキング）を開発。
- 宿泊コンテンツとして、グランピングの課題抽出や古民家を活用した宿泊施設の整備。
- ホームページ等のPRツールを作成し、インバウンド層の受け入れ環境の整備を行う。また、（公財）大阪観光局と連携し、国内外での観光プロモーションを展開。

将来像として、ドイツで取り組まれているクラインガルテン（滞在型農園）を参考にインバウンド層にも対応した大阪の先進的な長期滞在型農業体験地域を目指す。



農業体験  
（いちご摘み）

## インバウンド対応状況（青：対応）

| Wi-Fi | 洋式トイレ | キャッシュレス | 外国語HP | 外国語案内表示 | 外国語ネット予約 |
|-------|-------|---------|-------|---------|----------|
|       |       |         |       |         |          |

農ある暮らしツアー



大規模農業生産団地が整備され、そこからは大阪湾が一望